「アムバルワリア」

I　ここに集まるすべての人に

ここに集まるすべての人に恵みを与へよ。古より伝はる儀式として我等は我が穀物と野を清める。バックスよ、我へ来れ、汝の角からたれさがる甘い葡萄をもって、またセレースよ、汝のこめかみを麦の耳で飾れ。この神聖の日には、地も農夫も休ましめよ。すべてのものは神の式をあげよ。

II　しかし昨夜愛の女神が

しかし昨夜愛の女神が歓楽を与へた祭壇には近づくな。天は清浄を欲する。(着てくる)着物は清かるべく、手は泉の水にて浄めよ。見よ、神に捧げる羊は光る祭壇に歩き、その後の白い行列が歩き、彼等の頭髪は橄欖に飾られぬ。我先祖の神々よ、我等は野を清める、農民を清める、我等が領域から、あらゆる悪を追ひ給へ。実の少ない穀物をして収穫を侮蔑せしめるな。

Hoson zes phainu meden holos sy lypu. Pros oligon esti to zen. to telos ho chronos apaitei.
訳）生きている間は、楽しくして嘆くことはない。
人生は短く、時はその貢ぎものを要求してくるのだから。

「セイキロスの碑文」
古代ギリシア・前２世紀頃（後１世紀？）

III　Nunc te, Bacche さあバックスよ
Nunc te, Bacche, canam, nec non silvestria tecum
virgulta et prolem tarde crescentis olivae.
Huc, pater o Lenaee -- tuis hic omnia plena
muneribus, tibi pampineo gravidus autumno
floret ager, spumat plenis vindemia labris --
huc, pater o Lenaee, veni nudataque musto
tingue novo mecum direptis crura cothurnis.

訳）さて今度は、バックスよ、あなたを歌おう。あなたとともに、
森の若木と、ゆっくり生育するオリーヴの若枝も。
こちらへ、おお、父なるレナウスよ。ここではすべてが、あなたの
恵みで満ちている。あなたのために、野は秋の葡萄の葉を満載して
光り輝き、取れた葡萄は桶いっぱいに泡立っている。
こちらへ来て下さい、おお、父なるレナエウスよ。編み上げ靴を脱いで、
私とともに、新しい葡萄汁に脛を浸してください。

プブリウス・ウェルギリウス（B. C. ７０～B. C. １９）
『農耕詩　第二歌・冒頭』

IV　我が祈祷はきかれた　－　序唱とミュゼット

我が祈祷はきかれた。見よ、予言する羊の内臓の具合を、神々は恵み深いことを知れ。くすむファレルヌスの葡萄酒を古い瓶から持ち来れ。キオスから来た瓶の紐を解け。葡萄酒をして今日を祭らしめよ。酔ふことは恥にあらず。ふらつき、足どり悪いことも恥にあらず。メサラのために祝杯をあげよ。発する各々の言葉には今日祝日に居ない人々の名も聞こえしめよ。一我れ田園を歌ふ。田園の神々を歌ふ。一田園の少年は春の花で小さい輪を作りラレスの神の頭に置く。労働につかれた農夫は田園の言葉をもって歌をつくり一。一愛＜クピードウ＞は野に生まれる。愛の喜びは乙女の心をさし、強き者をも地に伏さしむ。青春をして財宝をすてさしむ。老人をして恥づべき言葉を（怒れる女の戸口で）発せしめる。乙女をしてひそかに（手さぐりにて）夜の暗やみを歩かしめる。愛の少年＜クピードウ＞よ来れ。一我等は皆この愛の神を歌へ。

小千谷ロータリークラブ創立50周年記念事業

男声合唱団
コール・ヴァフナ
小千谷公演

2012　6/2(土)　PM 2:30開場　PM 3:00開演

小千谷市民会館大ホール

●主催／小千谷ロータリークラブ
●共催／小千谷市教育委員会
●後援／小千谷アンサンブル協会
●協賛／㈱小千谷青年会議所

ご 挨 拶

ようこそ「コール・ヴァフナ小千谷公演」へ

国際ロータリー第2560地区
小千谷ロータリークラブ 2011～2012年度
会長 **西 巻 一 男**

本日はご多用の中、小千谷ロータリークラブ創立50周年記念事業「コール・ヴァフナ小千谷公演」にお越し頂き誠にありがとうございます。

私たち小千谷ロータリークラブは、お陰様で本年創立50周年を迎える事ができました。

50年という長い歴史を築き上げることができましたのも先人の方々のご努力、地域の皆様のご協力の賜と感謝致しまして、この度の演奏会を企画致しました。

さて3年ぶりの来谷となる「コール・ヴァフナ」の皆様からは、メイン演奏曲に当市出身の世界的大詩人西脇順三郎作詞による「アムバルワリア」を選曲頂きました。

まさに50周年記念にふさわしい意欲的プログラムと存じます。

また、開催にあたり、混声合唱団OSC、コール・Rの皆様からも賛助出演をご快諾頂き、当クラブメンバーによる小千谷ロータリー混声合唱クラブも出演致します。

どうぞ、それぞれのステージをごゆっくりとお楽しみ頂ければ幸いです。

最後になりましたが、この度の演奏会開催にあたり、小千谷市教育委員会、小千谷アンサンブル協会、㈳小千谷青年会議所を始め、ご指導・ご尽力頂いた関係各位に深く感謝申し上げます。

“小千谷ロータリークラブ50周年記念事業” 開催にあたって

小千谷ロータリークラブ
50周年実行委員長 **岡 元 学**

本日はコール・ヴァフナ公演にお越しいただき誠にありがとうございます。

小千谷ロータリークラブは、1962年（昭和37年）7月国際ロータリーから加盟承認を得て誕生し、本年創立50周年の記念すべき時を迎えることが出来ました。これも皆様から寄せられましたご理解とご協力の賜物であり厚く御礼申し上げます。

本日の小千谷公演は創立50周年の記念事業の一つとして開催いたしました。事業は「小千谷市国際交流・文化・スポーツ振興基金」への支援、毎年「ユニセフ・ハンドインハンド募金」で街頭募金に協力いただいているボーイスカウト小千谷第一団へテントを寄贈。また東日本大震災により保護者が死亡又は行方不明となった児童（孤児・遺児）に対し生活及び修学の支援を目的とした「1. いわての学び希望基金」「2. 東日本大震災みやぎこども育英基金」「3. 東日本大震災ふくしまこども寄付金」等の各基金に寄附金を贈らせていただきました。

私たちロータリークラブには数多くの奉仕活動プログラムがあります。本日配布させていただきました「ロータリー世界と日本」には、地域社会のための活動をはじめポリオ予防接種活動などが掲載されていますのでご覧ください。

小千谷クラブは50周年を機に、改めて奉仕活動を会員一丸となって進めてまいりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

㈲アオヤギガーデンプラン
〒949-5212 長岡市小国町桐沢2158
電話（95）3856

SHUWA CONSTRUCTION 秀和建設㈱
〒947-0051 小千谷市三仏生2533番地
TEL(82)0535 FAX(82)5212

ひらさわ呉服店
〒947-0053 小千谷市千谷川2-1-8
☎（82）2238 FAX（82）6262

小千谷総合病院附属老健施設
水仙の家
〒947-0021 小千谷市本町1-13-33
☎（83）3600

㈲ 廣勘不動産
〒947-0028 小千谷市城内1-10-26
☎（83）2009

㈲ イ マ イ
〒947-0028 小千谷市城内1-6-3
☎（83）2768

プログラム

Ⅰ．コール・R

1．抒情小曲集「月の角笛」より
　夕顔　作詞：金子みすゞ　作曲：木下牧子
　すずしい日　作詞：岸田衿子　作曲：木下牧子
2．女声合唱とピアノのための「ファンタジア」より
　重いのはなあに？　作詞：クリスティナ・ロセッティ　訳詩：木島　始
　作曲：木下牧子

小千谷ロータリー混声合唱クラブと共演

3．明日という日が　作詞：山本瓔子　作曲：八木澤教司
4．希望のささやき　作詞：緒園涼子　作曲：ホーソン　編曲：江口泰央
5．山あり河あり　作詞：西脇順三郎　作曲：三富健三　編曲：服部　正

指揮：新野一枝　ピアノ：池葉則子

Ⅱ．混声合唱団ＯＳＣ

1．混声合唱曲集「地平線のかなたへ」より
　春に　作詞：谷川俊太郎　作曲：木下牧子
　サッカーによせて
　二十億光年の孤独
2．Total Praise　作詞・作曲：Richard Smallwood

指揮：吉田　顕　ピアノ：小林とし子

Ⅲ．コール・ヴァフナ

「沖縄美ら唄」　編曲：須田和宏
1．花　作詞・作曲：喜納昌吉
2．芭蕉布　作詞：吉川安一　作曲：普久原恒勇
3．涙そうそう　作詞：森山良子　作曲：BEGIN
4．島唄　作詞・作曲：宮沢和史

特別演奏

5．この道を行く　作詞・作曲・編曲：小田和正

指揮：鬼塚裕一郎　ピアノ：武部純子

休 憩

Ⅳ．コール・ヴァフナ

アムバルワリア　作詞：西脇順三郎　作曲：千原英喜

指揮：川合良一

Ⅴ．全員合唱（皆さんで歌いましょう）

ふるさと　作詞：高野辰之　作曲：岡野貞一

指揮：川合良一　ピアノ：池葉則子

日本著作権協会（出）
許諾 K815029－4号

電気工事設計・施工
ご家庭の電気も お店の電気も…
電気の事なら何でもご相談ください。
株式会社 研電舎
小千谷市東栄3丁目1番20号
TEL（0258）82-2203 FAX（0258）83-4674

㈱ 松 月 堂
〒947-0027 小千谷市平成1-3-1
☎（82）2618

㈱ 位 下 印 刷
〒947-0054 小千谷市若葉3-137
☎（83）2002

㈱第一測範製作所
〒947-0044 小千谷市坪野826番地2
☎（84）3911

㈱ 慶友キタムラ
〒947-0028 小千谷市城内1-8-23
☎（82）7212

小千谷新聞社
〒947-0028 小千谷市城内2シティービル3F
☎（82）2378 FAX（82）2818

男声合唱団　Chor Wafna

1984年に結成され、1985年より年１回の定期演奏会を中心に活動。小千谷では、1994年・95年「コール・ヴァフナ小千谷公演」を開き、96年には小出郷文化会館のこけら落し演奏会に出演、97年小千谷市内の全合唱団とともに「小千谷合唱フェスティバル」に参加。2009年には小千谷ロータリークラブ主催により12年振りに小千谷公演を開催。北原白秋作詞「雪と花火」、小田和正氏より直接楽譜を提供いただいた「この道を行く」などを演奏し好評をはくす。

常任指揮者　川合良一

鎌倉市に生まれ、3歳よりヴァイオリンを始めた。1976年に東京藝術大学音楽学部指揮科を卒業。指揮を、故金子登、小林研一郎、エルヴィン・ボルンの各氏に師事。また、来日したチェコ・スロヴァキア　(当時)の名指揮者、故ズデニェク・コシュラー氏にも、親しく教えを受けた。1980年 現代音楽演奏グループ「アンサンブル・ムジカ・プラクティカ」を作曲家の近藤譲等と結成。指揮者、ディレクターとして、1987年まで、数多くのコンサートを指揮。NHK等に録音、放送された。
現在、かながわ合唱指揮者クラブ運営委員で副会長。北鎌倉女子学園音楽科講師。

団員指揮者　鬼塚裕一郎

大学時代に混声合唱団コール・ポリフォニーにて合唱を始め、現在はコール・ヴァフナ、混声合唱団LOCUSで団内指揮者を務めている。本日は首都圏以外での指揮者デビューとなる。３年前の小千谷演奏会は当日が子供の生まれる予定日で不参加だったため、今回の演奏会への思いは人一倍強い。

ピアニスト　武部純子

東京音楽大学ピアノ科卒業。学内卒業演奏会に出演。ピアノを坂田晴美、故武田栄子、平奎子の各氏に、ピアノアンサンブルを菊池絹江氏に師事。1993年１月　水戸芸術館主催「第４回茨城の名手・名歌手たち」オーディション合格。1993年９月「県民コンサート」オーディション合格。2009年６月　水戸芸術館主催「第20回茨城の名手・名歌手たち」オーディションに佐藤靖子氏とのピアノデュオ「Duo Reflet」として合格。2011年10月　第６回新潟ジュニアピアノコンクール審査員。2012年３月　水戸芸術館にて「Duo Reflet」リサイタル開催。現在、(株) ヤマハミュージック関東水戸店講師。

○メンバー

トップテノール　馬岡利吏　　栩木淳行　　石川裕記　寺澤昌洋　　山田栄治　　堀野康夫
セカンドテノール　鈴木俊吾　　浅野紀久男　　星野　力　　木下裕司　　稲垣哲也　　堀越　琢
バリトン　横田昌久　　小山紀男　　車　真佐夫　　鬼塚裕一郎　　茂木章善　　西村泰雄
バス　小林　健　　中田裕彦　　豊島裕樹　　浅野悠紀男

㈲小千谷トラベル
〒947-0028 小千谷市城内1-5-16
☎ (83) 4004

㈱ カ ネ オ ト
〒947-0021 小千谷市本町2-6-18
☎ (82) 2421

太陽光で始めよう!目指せ光熱費0円
㈱ 金 子 内 装
〒947-0035 小千谷市桜町670-3
RE:HOME新潟 0120-973-988

㈱ キ　ム　ラ
〒947-0028 小千谷市城内1-12-15
☎ (82) 7311

朝日生命保険相互会社
〒947-0004 小千谷市東栄2-4-17
☎ (83) 2260

㈲ 村田農機商会
〒947-0004 小千谷市東栄2-7-8
☎ (82) 2167

混声合唱団　ＯＳＣ（小千谷スピリチュアルコーラス）

1996年、小出郷文化会館のこけら落とし演奏会で結成された第九合唱団を引き継ぎ、小千谷で生まれた合唱団。結成15年、超指導者・吉田顕先生の笑いの絶えない中での効率の良い導きにより確実にレベルアップしていると自負してます。
定期演奏会を隔年で開催致しており、皆様に楽しんで頂けるよう練習に励んでます。
いつも団員募集中！

指揮者　吉田　顕

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。
指揮者、ヴォイストレーナー、音楽指導者、テノール歌手。
歌手として藤原歌劇団所属中の1995年(1998年退団)、「蝶々夫人」を指揮しオペラ指揮者デビュー。以来これまでモーツァルト「魔笛」、J.シュトラウス「こうもり」、プッチーニ「ラ・ボエーム」等のオペラやベートーヴェン「交響曲第9番“合唱付”」、チャイコフスキー「交響曲第５番」、等の管弦楽曲を指揮、いずれも好評を博す。ヴォイストレーナー、合唱/吹奏楽指導者&指揮者としても、エネルギッシュでユーモアたっぷりの楽しい指導法で全国的に好評活躍中。新刊「超簡単・ピアノ弾き語りメソッド」(自由現代社刊)好評発売中。
2007年より歌手活動を再開し各地で好評を得ており、特に「ヘンゼルとグレーテル」の“魔女”役はエキスパートとして絶賛を博している。
エルデ・オペラ管弦楽団指揮者。

ピアニスト　小林とし子

小千谷市出身。国立音楽大学教育音楽学科第Ｉ類卒業。ピアノを故高橋康子、小池和子、佐藤園子各氏に師事。
ヤマハ音楽教室講師として5年間勤務した後、現在は小千谷市城内の自宅において、小林音楽教室を主宰し、後進の指導にあたる。
各種団体のピアノ伴奏を努める傍でボランティア活動にも積極的に参加。市内の病院、福祉施設、小中学校の障害児学級等で音楽を通しての社会貢献に励んでいる。
県立小千谷西高校音楽科非常勤講師

○メンバー

ソプラノ　牛木孝子　　大形保乃美　　大橋純子　　金子ヒナ　　川上朋子　　斎木栄子
佐藤　年　　鈴木春美　　谷口則子　　丸山恵子　　三輪敏子　　村山良子　　山田総子
山本すいの　　吉田優子　　渡辺奈津美
アルト　安達ミチ子　　磯部秀子　　大渕千慧子　　風間智子　　塚田邦子　　仁多原政子
野沢幸子　　野村明子　　原田ひとみ　　宮川美千子　　渡辺ヨシ
テノール　清水秀雄　　田村　明　　村山敦夫
バス　内山正彦　　佐藤達弥　　斉藤利博　　鈴木孝明

小千谷タクシー㈱
〒947-0021 小千谷市本町2-1-6
☎ (82) 2121

㈱西巻ソーゴウ自動車工業
〒947-0028 小千谷市城内2-8-1
☎ (82) 2893

贈る心・結ぶ絆　吉雪（きっせつ）
吉雪小千谷店
〒947-0028 小千谷市城内1-8-18(ミヤキン家具様１Ｆ)
TEL・FAX 0258-82-3500

DB ODAJIMA
㈱おだじま保険
〒947-0028 新潟県小千谷市城内1丁目10番19号
TEL(0258)82-2360 FAX82-2361

小 片 鉄 工 ㈱
〒947-0014 小千谷市大字西中25
☎ (83) 2524

㈲ 米 又 商 店
〒947-0031 小千谷市土川1-15-30
☎ (83) 1101

コール・R

1986年新野音楽教室OGを中心に結成される。名前の由来はメンバー全員酒豪のため。毎年市民音楽祭等に出演の他、自主コンサートも行っている。毎年新潟市で開催される「お母さん音楽会」では2000、2003、2004、2010、2011年関東大会出場。本年から入賞団体の1／3が抽選により上位大会出場となり、入賞を果たしながら涙を呑む。1999、2002、2005年奨励賞受賞。最近では親子２代メンバーも。

指揮者　新野一枝

県立小千谷高校卒業、武蔵野音楽大学卒業、二期会オペラスタジオ研究生本科修了。
声楽を森敏孝・安居史恵子、ピアノを渡辺千世・鈴木治子の各氏に師事。
小千谷市、魚沼市に於いて音楽教室主宰。
近畿大学豊岡短期大学、国際こども福祉カレッジ非常勤講師。
小千谷市民会館、小出郷文化会館、新潟市だいしホール等で多数リサイタル開催。

去る４月７日、小千谷市民会館に於いてコール・ヴァフナ９名の賛助出演を得てリサイタルを開催。

ピアニスト　池葉則子

武蔵野音楽大学ピアノ専攻卒業。第30回新潟県音楽コンクール入選。
現在、新潟県内で演奏活動、後進の指導に当たる。
井上百合子、真下良子、竹内友子の各氏に師事。

○メンバー

ソプラノ　池上裕美　　岩渕尚子　　金谷真希　　神林直子　　関　幸子
メゾソプラノ　井口若菜　　川村ちひろ　　平澤佐誉子　　水倉裕子　　水島則子
アルト　池上千晶　　磯部秀子　　金谷実千代　　鈴木洋美　　坂西裕子

小千谷ロータリー混声合唱クラブ

平成18年暮れに結成。老化防止と健康的な趣味作りを目的として「歌上手ではなく～歌好き」が集まり、ロータリークラブを広く地域に知って頂くボランティア活動の一環として老健施設等への「唱歌の出前コンサート」を２か月に一回程度、実行しています。
施設では「やがて行く道、来る所？」とメンバー全員、心を込めて10曲程唄います。
ここまで辿り着けた？のは、ひとえに新野先生の指導力と諦めない根気強さ！そして何より歌好きメンバーの真面目さ！老眼鏡で譜面を追い、冷や汗を拭きつつ、練習を重ねてきたからこそと自負してます。メンバーは目下のところ男性７名・女性３名（準会員2名）。
相当、高齢化も進んで参りましたが可能な限り頑張って歌い続けます。

○メンバー

男声　西川敏郎　　星野徹也　　今井芳夫　　伴　忠雄　　吉田武彦　　関　暁　　望月博之
女声　北村道子　　小田島美智子　　新保ミイ　　今井美智子　　関のぞみ

理研精機㈱
〒947-8555 小千谷市大字葎生乙664
☎（82）4121

㈱荻野塗装
〒947-0024 小千谷市船岡1-1-35
☎（83）2411

㈲エム・ケイ・メディカル
〒947-0028 小千谷市城内4-1-38
☎（81）0700

ユキワ精工㈱
〒947-0052 小千谷市千谷2600-1
☎（81）1111

㈱住吉屋
〒947-0021 小千谷市本町2-6-5
☎（83）3155

創業51年 土地・建物 売買・仲介、アパート・貸家 仲介
新潟県知事（12）第778号
（社）新潟県宅地建物取引業協会会員
東京海上日動火災保険㈱代理店
小千谷産業㈱
〒947-0021 小千谷市本町1-3-3
☎0258-82-3000（代表）・FAX 0258-82-2900

曲目解説

「沖縄美(ちゅ)ら唄」

「美(ちゅ)ら」とは沖縄方言で「美しい、きれい、清らか」という意味ですが、その美しく清らかな沖縄の代表的なポピュラー音楽を、男声合唱曲に編曲した曲集を本日はお届け致します。

沖縄音楽は、王宮の伝統音楽から民謡を土台にしたポピュラー音楽まで幅広く、その音階や演奏する楽器（三(さん)線(しん)など）に独自の特徴がありますが、苦難の歴史を乗り越えた不屈の魂を感じることができ、今の日本に改めて勇気を与えてくれる音楽ではないでしょうか。

・花－1980年喜納(きな)昌(しょう)吉(きち)が作詞作曲した曲で、国内のみならず世界60カ国を超える国の多くのアーティストがカバーする沖縄を代表する作品です
・芭蕉布－1965年発表の沖縄サウンド草分けの名曲。芭蕉布とは芭蕉の葉から編んだ織物で国の重要無形文化財に指定されています
・涙そうそう－沖縄出身のBEGINが作曲、森山良子が、若くしてこの世を去った兄を想う歌詞をつけた曲でレコード大賞等を受賞しています
・島唄－THE BOOMの宮沢和史が沖縄音楽を取入れ作詞作曲。氏は沖縄出身ではないが「花」の作曲者喜納(きな)昌(しょう)吉(きち)から沖縄の魂をしっかり唄いあげていると絶賛された曲です

「この道を行く」

早稲田大学グリークラブが創立100周年の記念愛唱歌として、アーティストの小田和正さんに作詞作曲を依頼した曲です。2009年の小千谷演奏会のおり、小千谷の方々のためにということで小田氏自らが楽譜を手直ししてご提供いただいた、とても思い出深い一曲です。

「アムバルワリア - Ambarvaila」

作詞者である西脇順三郎氏は1894年に小千谷で生まれ、1982年に小千谷にて88歳の生涯を閉じました。ノーベル文学賞候補にもなった世界的詩人であり、小千谷名誉市民です。

氏の代表的な詩集である「Ambarvaila」は1933年に刊行されました。「Ambarvaila」とは穀物祭という意味のラテン語です。霧深いイギリスへ留学した三年間、ヨーロッパ各地を旅行した印象が「Ambarvaila」の諸編となっており、主な舞台はギリシア・イタリアの地中海地方となっています。

この詩集は、昭和のモダニズムの短い終末期に世に出された、自由な精神と国際的視野に立った作品でした。その後、急速に保守化して厳しい言語思想統制の時代になったことを考えれば、昭和前期の時代思潮を集約する最後の詩集ともいえるもので、現代詩壇に非常に大きな影響を与えました。濃いワインカラーの外箱をつけた画集のような大きさの大型判詩集であり、現代のヨーロッパの手触りを感じさせる装丁には、画家を志望されたこともある氏の息吹を感じます。

小千谷市民図書館内の西脇順三郎記念室では、水彩画や水墨画といった多くの絵画や、直筆のや詩篇や手紙等が残されており、氏の豊かな感性にはただただ圧倒される思いです。

留学中、いつも故郷小千谷の自然を郷愁していたという西脇氏。その氏の作品を小千谷の皆様の前で演奏出来ること、本当に感謝の言葉しかありません。ありがとうございます！

㈲笹岡畳工業所
〒947-0004 小千谷市東栄2-5-17
☎（82）3009

地域とともに歩みます。
東京電力 信濃川電力所
〒947-0053 小千谷市千谷川1-5-10
電話：(0258) 83-3110（代表）

越後おぢや農業協同組合
〒947-0028 小千谷市城内4-1-55
☎（83）3421

㈱吉田鋼業
〒947-0026 小千谷市上ノ山4-10-13
☎（82）9142

清酒 長者盛
新潟銘醸㈱
小千谷市東栄1丁目8番39号
TEL(0258)83-2025

㈱中越クリエイティブ
〒947-0031 小千谷市土川2-19-3
☎（86）1850